

## ルート番号表示によるわかりやすい誘導

～ 道路利用者が、迷うことなくスムーズに目的地に到着 ～

### (1) 指標の動向

#### ■ 路線番号案内の充実

路線番号や路線名称による案内は誘導の円滑性に優れ、土地に不案内な訪問者や外国人観光客等に対しても分かりやすいことから、路線番号方式による案内の充実を図る。

#### ■ 自動車交通の 7 割を担う都道府県道以上に重点化

国道+都道府県道の全道路に対する延長割合はわずか15%であるが、そこに自動車交通の 7 割が集中。従って、国道及び都道府県道が相互に交わる交差点に重点化。

#### ■ 平成 16 年度末は対前年度 4 ポイントの増

平成 16 年度末の整備率は 60%（前年度比+4 ポイント）にとどまっている状況。今後の課題として、限られた予算における効率的な整備や路線番号表示の周知による有効活用を図ることが重要。



路線番号が表示された案内標識の例

### (2) 達成度報告と業績計画

#### ■ 総合的な取り組みの推進

路線番号案内について、効率のよい整備を推進するため、国道が交わる交差点を重点的に整備（H16 実績：69%）。併せて、平成 16 年 12 月の「わかりやすい道路案内標識に関する検討会」の提言を踏まえ、以下のような取り組みを進めることにより、安全かつ円滑な道路交通の確保を図る。

- ・ マネジメント型の標識計画・管理の実施
- ・ 交差点名の表示の充実及び道路地図・カーナビへの反映
- ・ 案内標識に表示する地名の連続性・一貫性の確保及び道路ユーザーへの周知
- ・ 歩行者用の地図標識の整備推進 等

#### ■ 小型で簡易な標識を積極的に導入した好事例

長野県においては、案内標識が設置されていない交差点を効率的に解消するため、小型で簡易な標識（右下図を参照）を導入【解消数 63 箇所（全体の 7%）】。

引き続き、景観や歩道幅への影響、コスト面などに配慮し、小型で簡易な標識を積極的に導入。

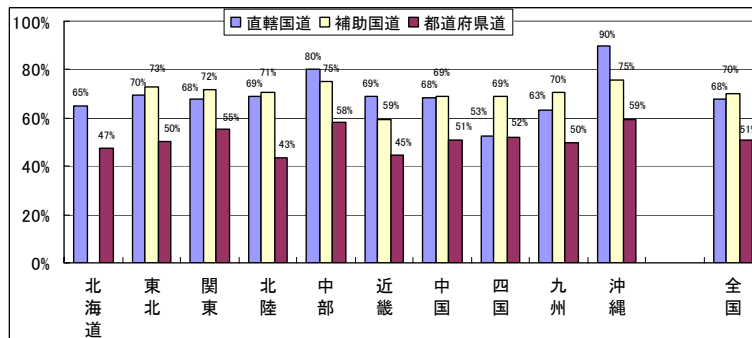
#### ■ ユーザーに対する周知

ホームページ等を活用した路線番号の周知を図るとともに、道路地図やカーナビへの反映を促す。

#### 【目標と実績】

H15 実績	H16 目標	H16 実績	H17 目標	H19 目標
56%	65%	60%	69%	90%

#### ○ 地方整備局等別整備状況



#### ○ 小型で簡易な標識の例



担当：道路局 企画課